

ガラスびん

びんの魅力と製造工程

ミニガイド

ガラスびんのある
快適で豊かな生活



良いものは、いつもガラスびん。

binkyō 日本ガラスびん協会

ガラスびんはイイところがいっぱい！

何年も前から暮らしの中で使われてきた容器、ガラスびんを、
手にとって見てください！中をのぞいてみてください！
びっくりするほどたくさんの魅力があふれ出てきますよ。



暮らしを心地よく彩る

食卓に並ぶ料理や食器にもなじむガラスびんは、毎日の暮らしに彩りをそえます。



中身が見えるから安心

びんの中身はいろいろ。透き通っているから、中身を見ることができて安心です。

味なしニオイなし

ガラスびんには味もニオイもないため、中身本来のおいさを引き出します。



中身が長持ち

空気などを通さないガラスびんは、中身のおいしさを長く保ちます。

中身の良さを演出

ガラスびんの落ち着いたイメージは、中身の良さを演出しアピールします。



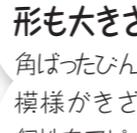
おいしさの引き立て役

やさしい手ざわりや口あたり、見た目の美しさなどが、中身のおいさを引き立てます。



スッキリさわやかイメージ

透明で輝きのあるガラスびんは、清らかでさわやかなイメージをただよわせます。



形も大きさも自由自在

角ばったびん、くぼみのあるびん、模様がちぎられたびんなど、個性をアピールできます。



リユース&リサイクルで ごみにならない

使い終わったあきびんは、きちんとリユースまたはリサイクルされれば、ごみになることはありません。

豊富なカラーバリエーション

無色・茶色・緑色・青色・黒色の他、ガラスびんのカラーバリエーションは豊富です。



あきびんの用途いろいろ

花を生けたり、インテリアに使ったり、コレクションしたり、あきびんはいろいろ使えます。

大切ににつながる 「重さと割れ」

少しばかり重かったり、割れることもあるガラスびんを、やさしく大切に扱ってくださいね。



ガラスびん知ってる度チェック

工場見学やこのリーフレットで学んだガラスびんについて、
どれだけわかったか、チェックしてみよう！
下の10項目について正しいものには○、
まちがっているものには×を記入して、
最後にある回答で答え合わせをしてみましょう。
8問以上正解で合格です。

1	ガラスびんの原料を、 かまの中で溶かす温度は約3000℃	
2	ゴブとは、溶けたガラスから 成形に必要な量を切り取った固まり	
3	成形されたガラスびんは、 熱をもっているため、すばやく冷やす	
4	ガラスびんへの印刷は、 水で洗い流すことができる	
5	日本でガラスびんが登場したのは、 安土桃山時代と言われている	
6	ガラスびんの主な原料は、 けい砂・石灰石・ソーダ灰とカレット	
7	ガラスびんの3Rとは、 リデュース・リユース・リサイクル	
8	あきびんは、キャップを付けたまま 排出したほうがよい	
9	味もニオイもないガラスびんは、 中身本来のおいさを引き出す	
10	あきびんは、きちんとリユースまたは リサイクルされれば、ごみにならない	

○① ○⑥ ×⑧ ○② ○⑨ ○⑤ ×⑦ ×④ ○③ ×⑩ 正解

石塚硝子株式会社 第一硝子株式会社 日本耐酸壇工業株式会社
磯矢硝子工業株式会社 大商硝子株式会社 日本山村硝子株式会社
株式会社大久保製壇所 大和特殊硝子株式会社 株式会社野崎硝子製作所
大阪精工硝子株式会社 東洋ガラス株式会社 柏洋硝子株式会社
興亜硝子株式会社 豊崎硝子株式会社 株式会社山村製壇所

日本ガラスびん協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町3-21-16 日本ガラス工業センター3F
TEL: 03-6279-2390 FAX: 03-5389-5868

<http://www.glassbottle.org>

FH201012

みんなが安心して使えるガラスびんを、昼も夜も、毎日つくっています！

ガラスびんが
できるまで

原料を混ぜ合わせてから、高温で溶かして、びんの形をつくり、ゆっくり冷やして、新しいガラスびんのできあがり。ガラスびん工場では、安心して使えるびんをつくるために、きめの細かい品質管理やきびしい検査を行っています。

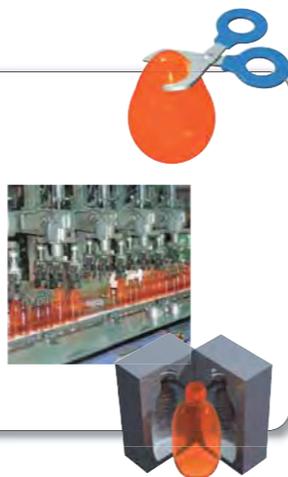
1 調合・溶解

必要な原料の重さを量り、ミキサーで混ぜ合わせた後、かまの中に入れて、約 1500℃の高温で溶かしてガラスをつくります。



2 成形

溶かしたガラスから、びんをつくるのに必要な量を切り取り、その固まり（ゴブ）を金型に入れて、びんの形にします。



3 徐冷

熱を持っているガラスびんを急に冷やすと、ゆがんだり、割れやすくなるため、少しずつゆっくり冷やしていきます。



4 検査

確かな品質のガラスびんを送り出すために、サイズや形や細かいキズまで、検査機や人の目で、きびしくチェックします。



加工

検査を終えたガラスびんの中には、びんを演出するために、文字や絵柄を印刷したり、着色コーティングをしたり、シュリンクラベルをする場合もあります。

印刷



着色コーティング



シュリンクラベル



5 出荷

検査や加工が終わったびんは、出荷先に合わせた形に荷づくりされて、中身をつめる工場へ運ばれます。



ガラスびん Q&A

日本でのガラスびんの登場は、いつごろから？

安土桃山時代にオランダなどからびんを輸入し、くすりなどを保存していたという記録があります。江戸時代後期に国産のびんも登場しますが、一般の人が使えるようになったのは明治中期から後のことです。



ガラスびんはどんな原料でできているの？

ガラスびんの主な原料は、けい砂・石灰石・ソーダ灰と、あきびんを細かく砕いたカレットです。天然の素材でつくられているため、人や地球環境に害を及ぼすことはなく、安心して使えます。



ガラスびんの3Rってどういうこと？

ガラスびんは、軽くするリデュース、くり返し使うリユース、資源にするリサイクルの3Rを全てそなえた容器です。ごみを減らし、省資源、省エネルギー、地球温暖化の防止に役立ち、地球をゲンキにします。



あきびんを出すときのルールって何？

きちんとルールを守って、あきびんを出せば、ちゃんと資源になります。地球のために、一人ひとりができることですね。



あきびん以外のものを、混ぜない